

日本の海岸線を歩く会 歩行報告書

報告者 横山泰一

1. 概要

ブロック名（会則に記載）の後に番号や歩行の通称を記載しても良い

ブロック名	近畿2
歩行区間詳細 (分り易い地点で)	スタート地点:二見浦(伊勢市二見町) ゴール地点:立神バス停(志摩市阿児町)
実施期間	2016年11月14日(月)~19日(土)
全歩行距離	106 km

2. メンバー表

No.	役割・分担	氏名	年齢	歩行日数	備考
1		横山泰一	71	6	
2		甲田征三	71	4	
3		住山 茂	71	6	
4		山崎 隆	67	3	
5		芳森佳子	64	6	

3. 歩行の概要

	月日	出発地 ~ 到着地	歩行距離	歩行参加者	備考
1	11/14	二見浦~安楽島町	15 km	横山、甲田、住山、芳森	
2	11/15	安楽島町~相差町	24	横山、甲田、住山、芳森	
3	11/16	相差町~安乗町	20	横山、甲田、住山、芳森	
4	11/17	安乗町~大王町船越	17	横山、甲田、住山、山崎、芳森	
5	11/18	大王町船越~御座白浜海岸	14	横山、住山、山崎、芳森	
6	11/19	御座白浜海岸~和具港(遊覧船乗り場)、賢島~立神	8	横山、住山、山崎、芳森	

4. 参加費

参加者延べ日数 25

参加費合計 2,500円

かかった費用(横山の場合)

交通費 20,110円

灯台観光 200円

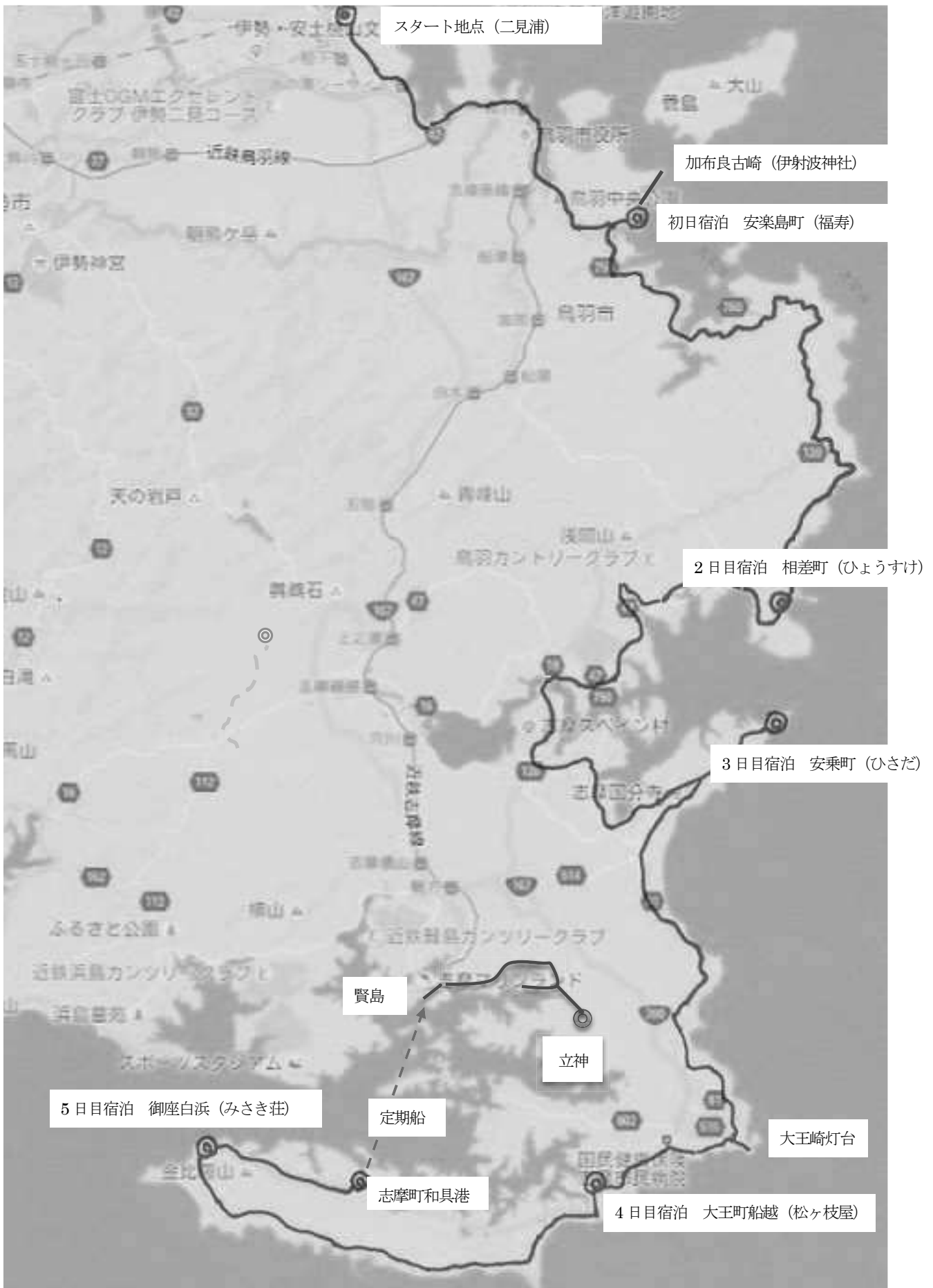
宿泊費 56,920円(内訳:1泊2食宿泊費 47,500、ビール・酒代 9,420)

飲食費 9,400円(昼食、ビール代)

合計 86,630円

5. 歩行の詳細

5. 1 歩行ルート



5. 2 歩行記録

11月14日

雨時々曇り

10:37 JR二見浦駅到着

JR二見浦駅に到着した頃から雨が降り出した。夫婦岩からは国道167号を歩く。雨が本降りとなった。道路の水たまりで靴も濡れだした。近鉄線池上駅近くの海鮮料理屋で昼食。

10:40 歩行開始

11:05 夫婦岩

12:45 昼食（魚々味）

13:40 歩行開始

曇り時々小雨の天気に対し少し回復した。国道を鳥羽駅、鳥羽城跡石垣、真珠島、鳥羽水族館などを横目に見ながら安楽島（あらしま）大橋へ到着。ここから国道と別れ、県道750号へ。市民の森公園から町道を安楽島（あらしま）町の宿へ向かった。

15:50 宿（福寿）到着

歩行距離 15km



JR二見駅



昼食に入った料理店



左手が真珠島



安楽島到着

11月15日

曇り後晴れ

早朝、加布良古崎（かぶらこざき）にある伊射波神社（いさわじんじゃ）を往復した。地元では「かぶらこさん」とも呼ばれ、縁結びの神様として訪れる人が多いらしい。天照大神のお側にお仕えしていた稚日女尊（わかひめのみこと）を祭るとされている。志摩の国の一ノ宮である。

一の鳥居が海岸にあり、うっそうと茂った暗い太古の森を登って社にたどり着いた。結構なアップダウンがあり、朝飯前の仕事としてはきつかった。帰り道で獣の叫び声が聞こえた。罾に2頭のイノシシが捕らえられていた。

6:30~7:30 伊射波神社（いさわじんじゃ）往復 3km



海に向かって建つ鳥居



本殿

8:45 出発

県道 750 号を南下した。途中でエキシブ鳥羽アネックスの敷地をショートカットで通過した。再び県道へ戻ると道路わきに鳥羽竜の足跡の化石レプリカに出会った。発見場所は崖下の海岸とされている。その後、カキ養殖場をいくつか通り越し、麻生（おお）の浦大橋へ出た。

10:40 浦神社

10:50 麻生（おお）の浦大橋

大橋手前の浦神社がパールロードの起点となっている。大橋を渡り、パールロードと分かれて県道 750 号を石鏡（いじか）町へ向かった。さすがにカキ養殖場の地域で、小さな浜の小屋でも周りはカキガラ山となっている。焼きガキも食べたかったが、今日の昼は西村食堂と決めていたので素通りした。

石鏡（いじか）町に到着すると、急で細い坂道と階段の混ざった小道を下り、浜にある西村食堂へやっと出た。昨晚、宿の人からここで食べる人が多いと聞いていた。やっと4人が座れるテーブル席に着くことができた。

12:35 昼食（西村食堂）

13:30 歩行開始

半端ではない豪快な昼食を食べた後の急な上り坂がきつかった。パールロードと並行して走る県道 750 号を国崎（くざき）町へ向かった。車の通行量は少ないが海も見えない単調な道。国崎町の集落も5万分の1の地図より道が複雑にあり、地図読みに苦戦した。相差（おおさつ）町へ入ってから県道 750 号を歩いたため少し遠回りになってしまったが、無事に宿（ひょうすけ）に到着した。

15:30 国崎浜

17:10 宿到着

歩行距離 21km



出発前の記念写真



漁港で牡蠣殻を剥く作業



鳥羽竜足跡の化石レプリカに見入る (9:43)



浦村牡蠣養殖場を横目に見ながら先を急ぐ (9:54)



麻生の浦大橋が見えてきた (10:34)



小屋横の牡蠣殻の山 (11:11)



石鏡の浜へ急階段を降りる (12:30)



国崎海岸付近 (15:56)

11月16日

快晴 風強い

8:30 出発

菅崎(すげさき)を回る道がないため宿から直接的矢湾沿いの畔蛸町(あだこまち)へ出た。畔蛸町は漁業、岩牡蠣、のりの養殖が盛んなところ。海女小屋はちまんかまどに寄り道し、西明寺の境内を抜けて、鳥羽マリーナから県道47号を通り、途中からの矢湾へ向かって急な町村道を下った。県道は入江で途切れ、途切れで続いているから困る。本来は橋を架ける予定だったので、行き止まりの道標もないので注意が必要。

9:00 はちまんかまど

11:30 佐藤養殖場

養殖場ではカキが食べられず、向かい側のレストラン「藤矢」を紹介された。あいにくと満席で、少し待たされてからやっと生牡蠣に出会えた。

12:40 歩行開始

13:10 的矢大橋

県道750号、128号を通過して、スペイン村を通過し、コンビニへ寄ってから県道61号を阿児町国府(あごまちこう)へ向かった。国府白浜海岸の北外れでやっと海岸へでた。ここから安乗崎(あのりざき)の先端にある宿(料理旅館ひさだ)へは県道514号を通った。

15:40 国府白浜海岸

15:55 国分寺通過

16:40 宿(料理旅館ひさだ)

歩行距離 20km



出発前



的矢湾アオサのり養殖場(11:01)



的矢佐藤牡蠣養殖場(11:31)



的矢牡蠣を食べる レストラン(藤矢)にて



的矢大橋を渡る (13:12)



国府白浜海岸に到着 (14:43)

11月17日

快晴

早朝、6時に宿を出て日の出を見た。

今日は阿児町安乗から大王町船越までの17kmを歩く予定。途中で山崎さんと合流する。彼は地域の草刈りで休みが取れず、この日からの参加となった。

安乗崎灯台は日本で数少ない登れる灯台で、「喜びも悲しみも幾年月」の舞台となったところで、見学することにした。見学時間が午前9時からのため、荷物を宿において、朝日を見た安乗崎へ再度出かけた。

四角い灯台は珍しく、灯台からの眺めは抜群。この時、山崎さんから連絡が入り、白浜海岸ゴルフ場で落ち合うことにした。彼は昨夜、自分の車を運転して参加してくれた。おかげで最初から一緒に歩行できることになった。

宿へ帰り、昨日歩いた部分は宿の車に乗り、国府(こう)白浜海岸から歩行を開始した。

09:30 宿の車で国府白浜海岸へ

09:38 歩行開始

09:50 ゴルフ場施設で山崎さんと合流

ここで看板を発見した。近畿自然歩道なるものがあり、鳥羽市から志摩市を経て南伊勢町まで整備されているように書かれている。少なくとも大王崎灯台までの10kmはこの歩道上を歩けると理解した。これが大きな間違いであることにすぐに気づかされることとなる。

堤防上の歩道を、白浜海岸に続く阿児の松原を見下ろしながら、熊野灘でサーフィンを楽しむ人も眺められ、気持ちよく歩いた。そのうち、自然歩道がなくなり、公道を案内している。所々に立派な道標はあるが、違った方向を示しているものもあり、地元の人あまり関心はないらしい。自然歩道を聞いてもわからないと答えられた。帰ってから調べたが、公道と自然歩道をつないで案内しているもので、自然の部分は雑草が生えて歩行困難な部分もある。メンテナンスされていないため数年で廃道となり、途切れ途切れとなっているようだ。

海岸沿いの道を探していると案内してくれるという老人が現れた。道なき道を歩いて、案内されたのが、太平洋戦争中に防空壕や遊び場として使っていたという洞穴でした。どうやら古墳で発掘調査も行われたところらしい。

帰ってから調べてみたが、塚穴古墳と呼ばれる6世紀後半に築造された石室で、阿児町志島の海辺の集落内に点在する古墳群の一つだということが分かった。

史跡にしては管理されておらず、草に覆われ、案内板もない。2013年に発掘調査が行われたが、その後放置されたままとなっている。整備する費用がないため、調査だけでもしたとのこと。数十年後には海岸の浸食で崩壊してしまう恐れもあるらしい。

改めて海岸沿いに大王崎へ出る道を案内していただいた。

大王崎灯台は工事のため休館中であった。本来は年中無休の登れる灯台として人気がある。安乗崎灯台とともに日本

の灯台 50 選にあがっている。

11:25 市後浜

12:30 郵便局

13:40 スーパー

14:30 大王崎灯台

灯台そばに並切城跡がある。久鬼嘉隆が生まれた城があったところ。ここからは内陸を県道 602 号經由大王町船越へ。

16:10 宿（磯料理の宿 松ヶ枝屋）

歩行距離 16.5km



安乗灯台の日の出 (6:33)



四角い安乗崎灯台 (9:00)



出発前 (9:27)



山崎さんと合流 (9:50)



道案内をしていただいた 塚穴付近 (11:08)



案内されたのは古墳でした (11:18)



大王崎への道 (11:24)



大王崎灯台 14:33



大王崎灯台遠望 (14:45)



船越浦 (16:10)

11月18日

快晴

8:30 出発

都合で朝帰る甲田さんを見送り、船越浦で船から貝を軽トラックに積み替えている漁師に出会った。ヒオウギ貝はまだ稚貝で3cmほどの大きさしかなく、ここよりも水温の高い五ヶ所湾で越冬させるためという。10cm位の大きさになる。昨日の夜も食べた。ホタテ貝の子供のような貝で、緋色の美しい貝である。

9:10 深谷大橋西

9:28 片田神社

10:10 麦崎灯台

12:40 昼食 (和具 大黒寿司)

13:40 出発

13:53 県立水産高校パールジュエリー作品展示会場

14:15 歩行開始

深谷大橋を渡り大野浜へ。赤い鳥居が目立った片田神社に寄り道してから麦崎灯台を目指した。近畿自然歩道の道標にここでも少し惑わされたが、なんとか灯台に到着した。この灯台の景色も素晴らしかった。白亜の灯台、岸壁に咲くイソギク（磯菊）とアゼトウナ（畔唐菜）の黄色い花、熊野灘の青と岸壁に打ち寄せ、碎ける白波、遠くには大王崎灯台が眺められた。

赤い漁網が干された布施田広の浜、和具広の浜などいくつかの浜を伝って和具へ。和具は寿司屋が多い。どこがおいしいか地元の人に聞いて、大黒寿司店へ入った。ここの握り寿司は醤油ではなく甘辛のたれをつけて食べる。初めてだったが意外と美味しかった。どうもこの店だけの食べ方ようだ。

寿司店から出ると隣に洋菓子屋があり、のぞき込むと値段が安かったためケーキを購入した。この店を出ると思わぬ客引きに出会った。少し時間があつたので、連れて行かれた先は、水産高校のパールジュエリー作品展示会場だった。客引きのお兄さんは先生でした。作品を眺め、本物真珠の見分け方を体験し、最後にアンケートに答えて解放された。少し気分転換ができ、楽しめました。

15:00 越賀（こしか）海岸 海女小屋体験施設

楽しい道草をした後は、海女小屋体験施設さとうみ庵と海女資料館にも立ち寄り、今夜の宿みさき荘へ到着した。

15:45 宿到着

到着後、宿の主人が御座岬南側の砂浜に案内してくださった。裸足で歩くと気持ちがいい砂浜という。足裏マッサージ、足のツボに小石が当たると痛い。健康にはよいかもかもしれないが。

歩行距離 14.3km



出発前の記念写真。甲田さんとはここで別れた。



船越浦で漁師と出会う



ヒオウギ貝の稚貝



稚貝を毛布で保温して五ヶ所湾へ運ぶところ



大野浜



片田神社



麦崎灯台



麦崎から大王崎方面を望む



和具の家並み



大黒寿司店のにぎり寿司



水産高校パールジュエリー作品展示会場



生徒が真珠養殖からデザイン・加工した作品



熊野灘の夕陽



素足で砂浜を歩く

11月19日

曇り時々雨

8:55 宿出発

御座白浜を歩き、御座の町並みを抜けて、御座港あたりから雨となった。国道260号を志摩大橋へ。志摩大橋は途中まで渡り、引き返して水産高校から和具浦の定期船乗り場へ出た。今回の歩行の終着地。

10:50 和具浦

11:10 定期船に乗って賢島へ渡る

11:35 賢島着

12:00 昼食

12:30 住山さん、芳森さんと横山がそれぞれ帰宅

午前中の歩行距離 8km



出発前の記念写真



白浜海岸に行く



御座から和具へ向かう



志摩大橋を見物して和具浦へ向かう



和具浦定期船乗り場にて



英虞湾クルージング

午後は山崎さんが更に歩行を伸ばした。

12:35 賢島駅出発

13:20 小さな港

14:00 岬(英虞湾に突き出た小さな半島)

15:30 宇気比神社 (参拝)

15:45 立神 バス停 歩行終了

16:22 バスで鶴方に向かう。

午後の歩行距離 8km



小さな港でカキ棚を見る



英虞湾を望む



今回のゴール 立神バス停

5. 3 歩行を終えて

時期は牡蠣や伊勢海老のシーズンを考慮し、11月を設定した。多少雨には降られたが、全般的には天候に恵まれ、暑いくらいであった。比較的温暖な地域であるので冬でも問題なく歩けるかと思われる。

1日の歩行距離は20kmを超えないように計画したが、前半がきつく、後半は余裕があった。距離の長い日と短い日を交互にするとよいのだろうが、宿泊地の関係で難しかった。

これまでもリアス式海岸線を歩いてきたが、今回もアップダウンが多く苦戦したところもあった。また、忠実に海岸線をたどることは難しいが、今回は地元の人のご案内で古墳も訪ねられたのは面白かった。水産高校の作品展を覗くこともでき、このようなハプニングも魅力だと思う。

歩行ルートから少し外れた寄り道はなかなかできなかったが、今後考えたい。

今回の歩行ルートに、コンビニや食堂が少なく、コンビニ等の情報は事前に把握しておく必要性を強く感じた。今回の大きな反省点と感じた。

5. 4 志摩の宿について

なるべく料金の安い宿やビジネスホテルを探したが、観光地だけにあまりなく、伊勢海老はいらないから8,000円でお願いしたところもあった。設備は、昔のままの所が多く、洋式便所もあったが和式便所が多かった。料理は、仲買人や漁師をしているため、魚が安く入り、豪華な舟盛り、伊勢海老の御造りなどを楽しめた。

料理の一例

2日目ひょうすけの料理



3日目ひさだの料理

